



飲酒活動と幸福感： 新型コロナウイルスの影響

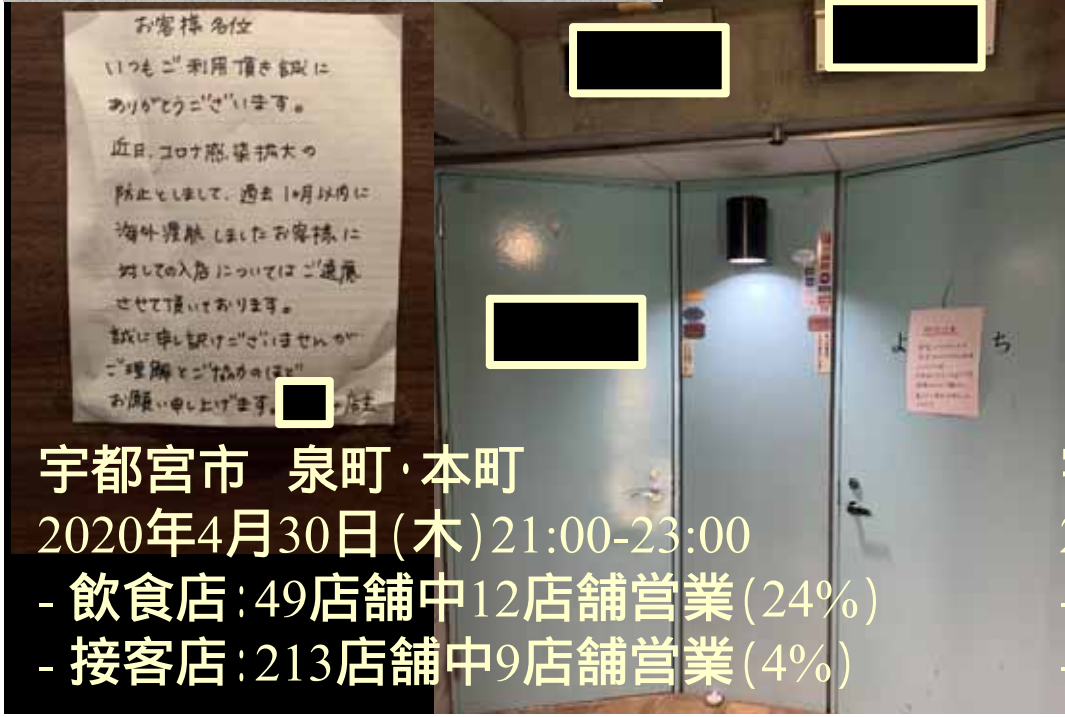
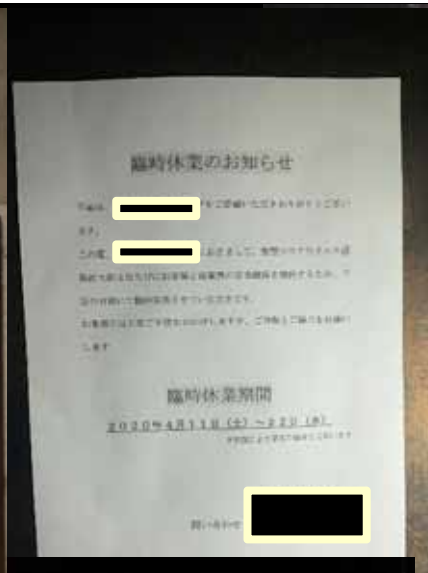
大森宣暁(宇都宮大学)

COVID-19に関する土木計画学研究セミナー

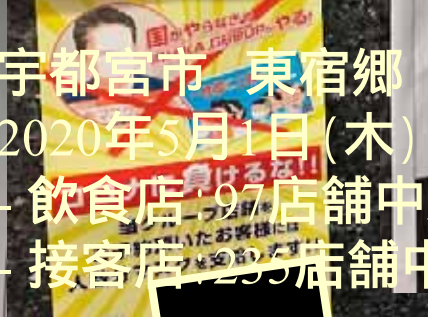
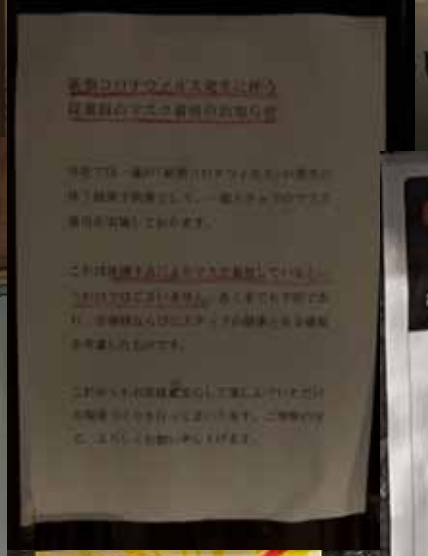
令和2年8月8日@Zoom



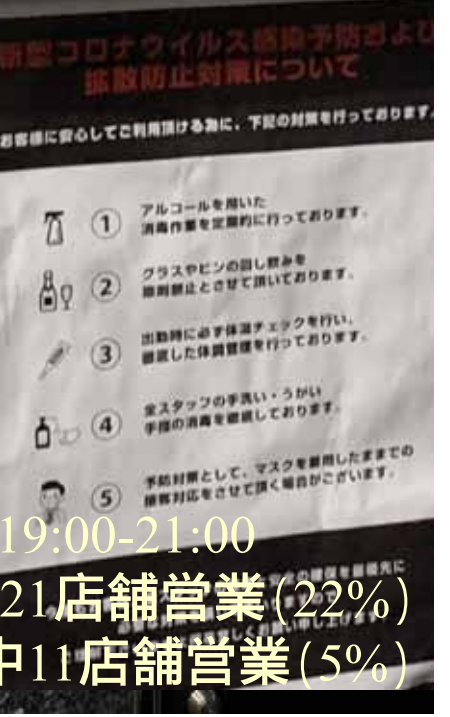
読売新聞栃木版2020年6月14日



宇都宮市 泉町・本町
2020年4月30日(木)21:00-23:00
- 飲食店:49店舗中12店舗営業(24%)
- 接客店:213店舗中9店舗営業(4%)



宇都宮市 東宿郷
2020年5月1日(木)19:00-21:00
- 飲食店:97店舗中21店舗営業(22%)
- 接客店:235店舗中11店舗営業(5%)



飲酒活動と幸福感

- 背景：飲酒活動の頻度や内容が満足度や幸福感に影響を与え、地域差も存在する。
 - 出張者の自由時間の使い方
 - 若者の余暇活動と満足度
 - 大学生の余暇活動と幸福感
- 仮説：適度に外（+家）で飲めることが（健康と）幸福につながり、そのための都市・交通環境を整備することが重要である。

飲酒活動と幸福感に関する アンケート調査

- Web調査会社(楽天インサイト株式会社)のモニター840人
 - 東京23区240人、東京都市圏政令市240人、東京都市圏それ以外240人、宇都宮市120人
 - 性別(男女)、年齢(20代、30代、40代、50代、60代、70代以上)で同数ずつ収集
- 2020年4月上旬(4月7日の緊急事態宣言発令前)実施

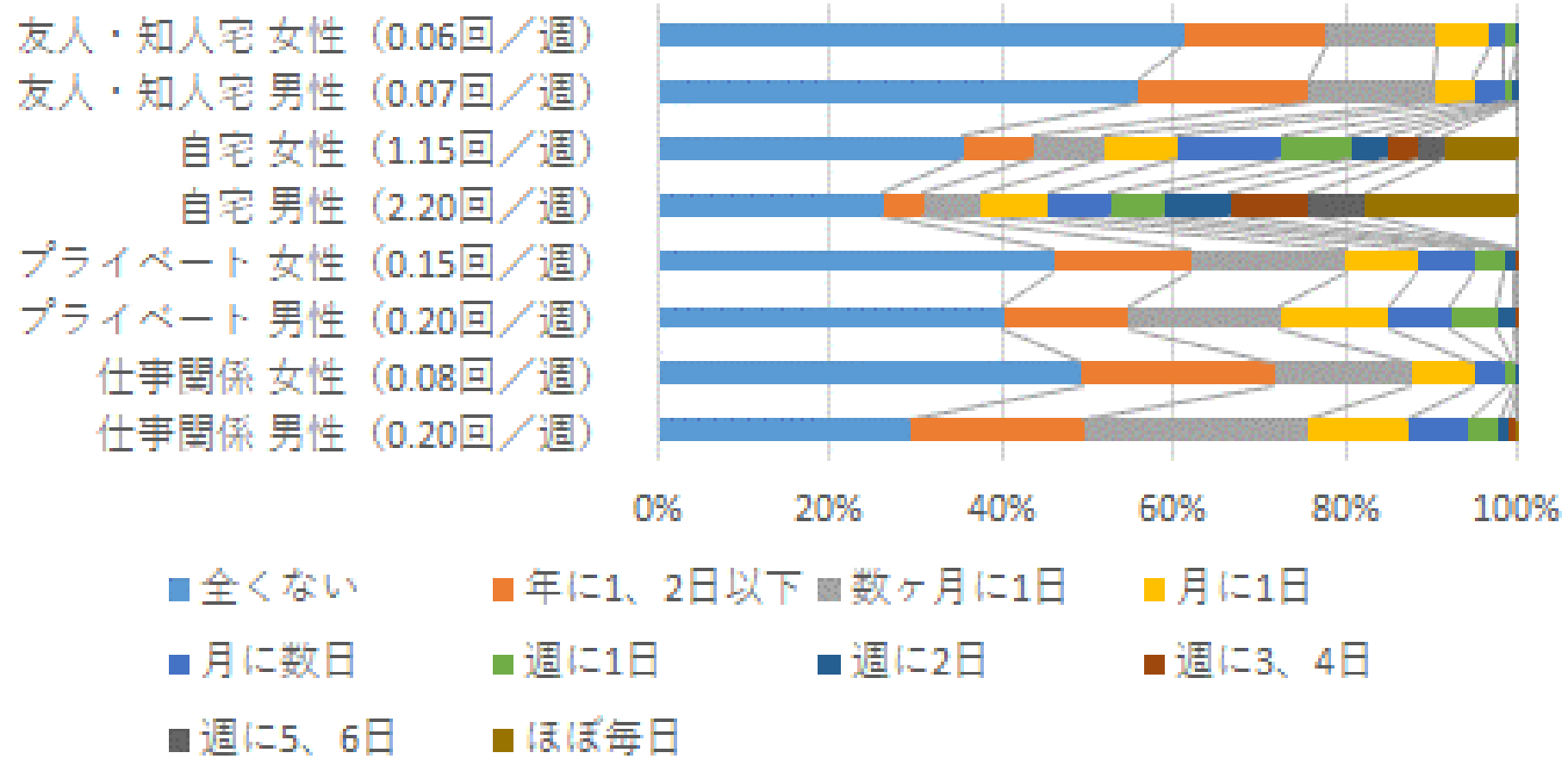
飲酒活動と幸福感に関する アンケート調査

- 質問項目
 - 新型コロナ前(2019年4月～12月)の飲酒実態、意識、健康、幸福感
 - 新型コロナの影響
- 飲酒活動を以下の4種類に分類
 - 仕事[○]の関係や所属するグループ[○]等の付き合いで居酒屋、バーなどに飲みに行く
 - プライベート[○]で居酒屋、バーなどに飲みに行く
 - 自宅でお酒を飲む
 - 友人や知人宅でお酒を飲む

分析

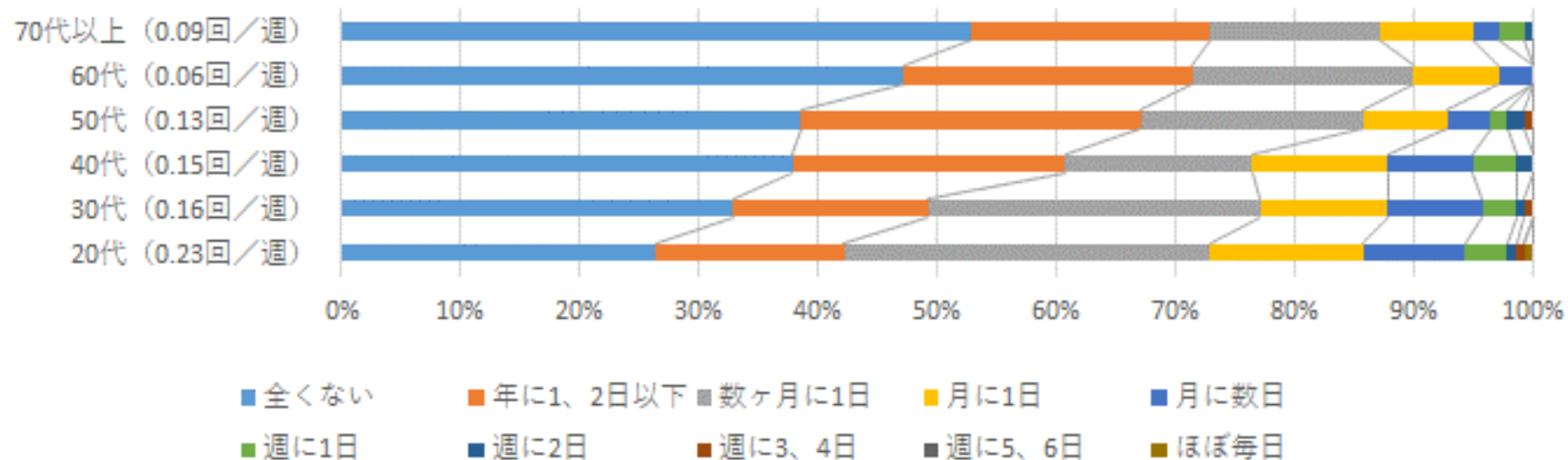
- 性別、年齢別、地域別の飲酒頻度、飲酒活動の好み、帰宅交通手段
- 性別、年齢別、地域別の外飲みと家飲みの理由、外飲みの満足度を向上させるための要因
- 新型コロナ後の飲酒頻度、外出頻度の変化
- 新型コロナ後の幸福感の変化

男女別飲酒頻度

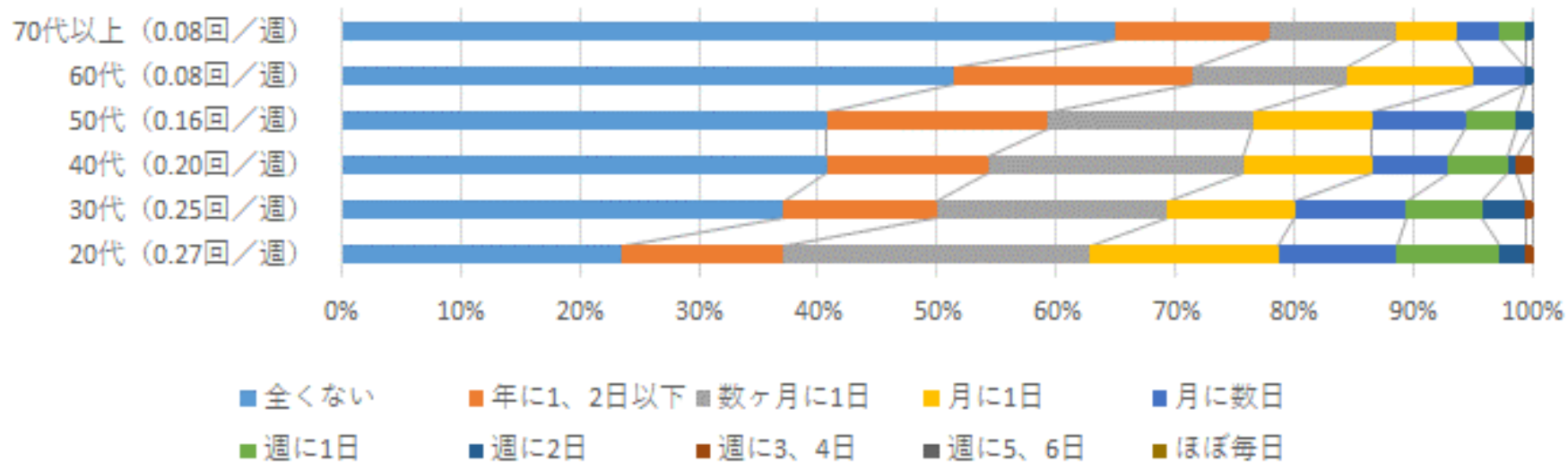


※括弧内の数値は平均値

仕事の関係や所属するグループ等の付き合いで飲みに行く頻度

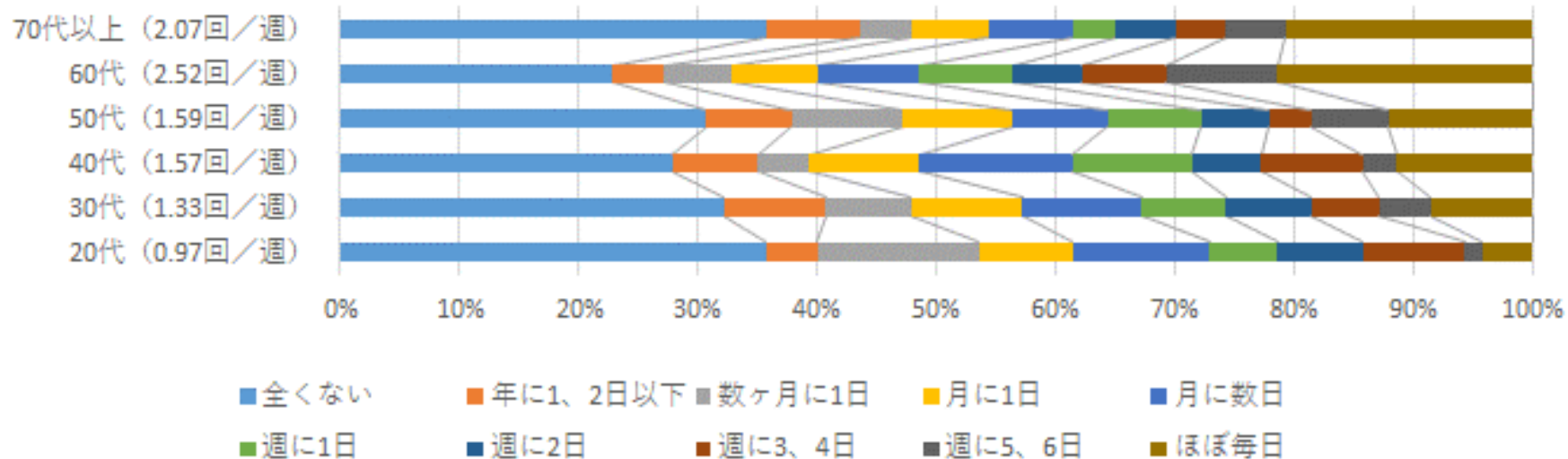


プライベートで飲みに行く頻度

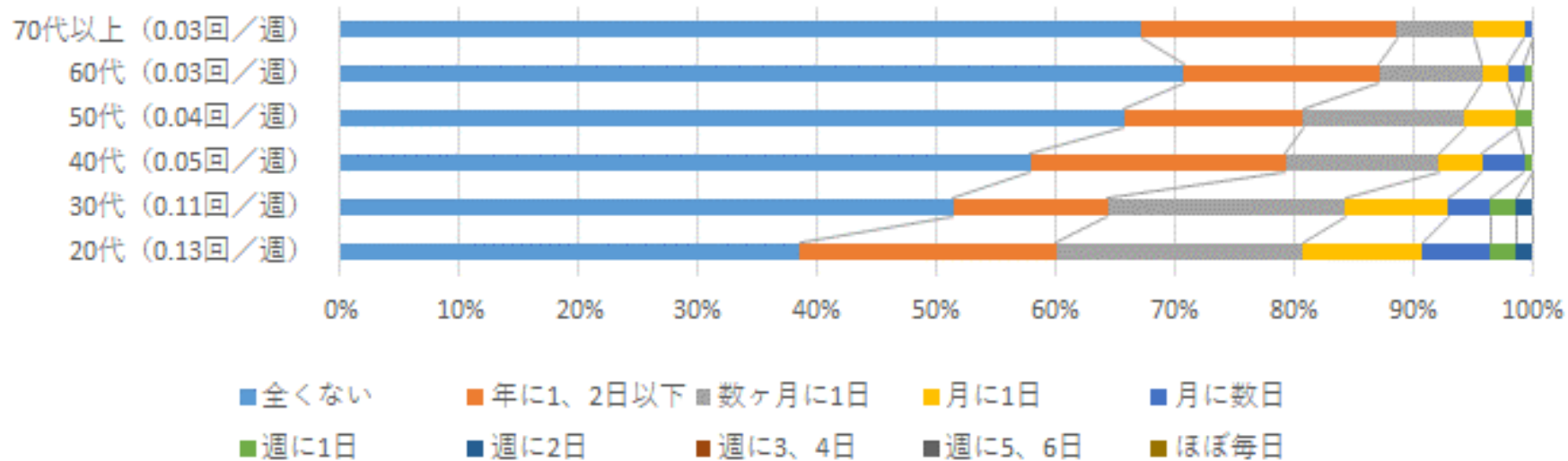


※括弧内の数値は平均値

自宅でお酒を飲む頻度

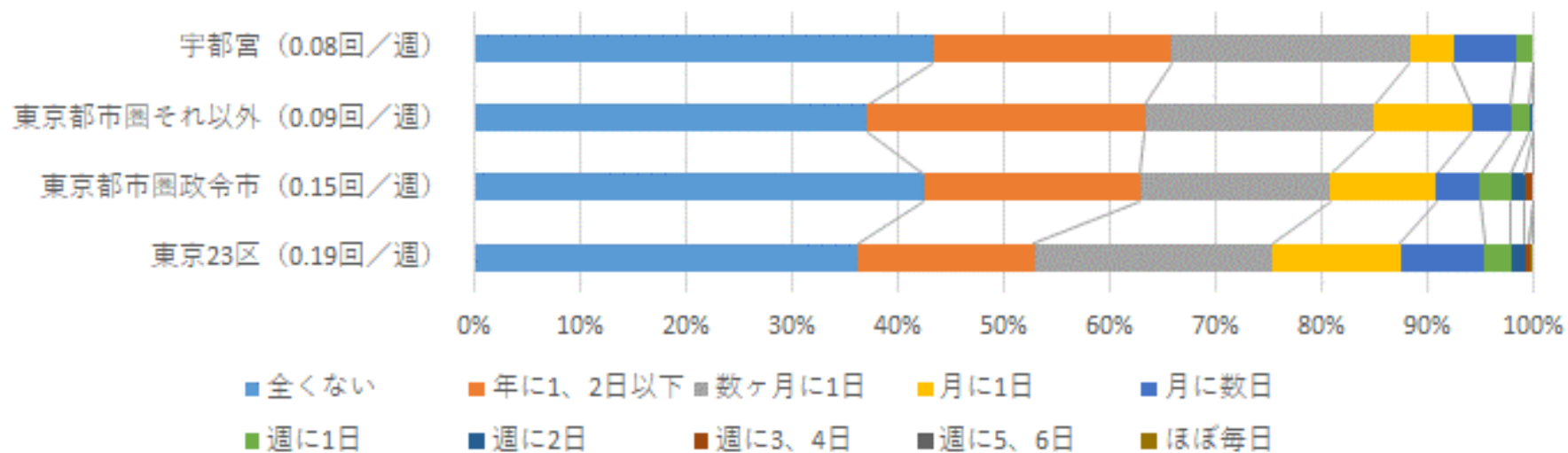


友人や知人宅でお酒を飲む頻度

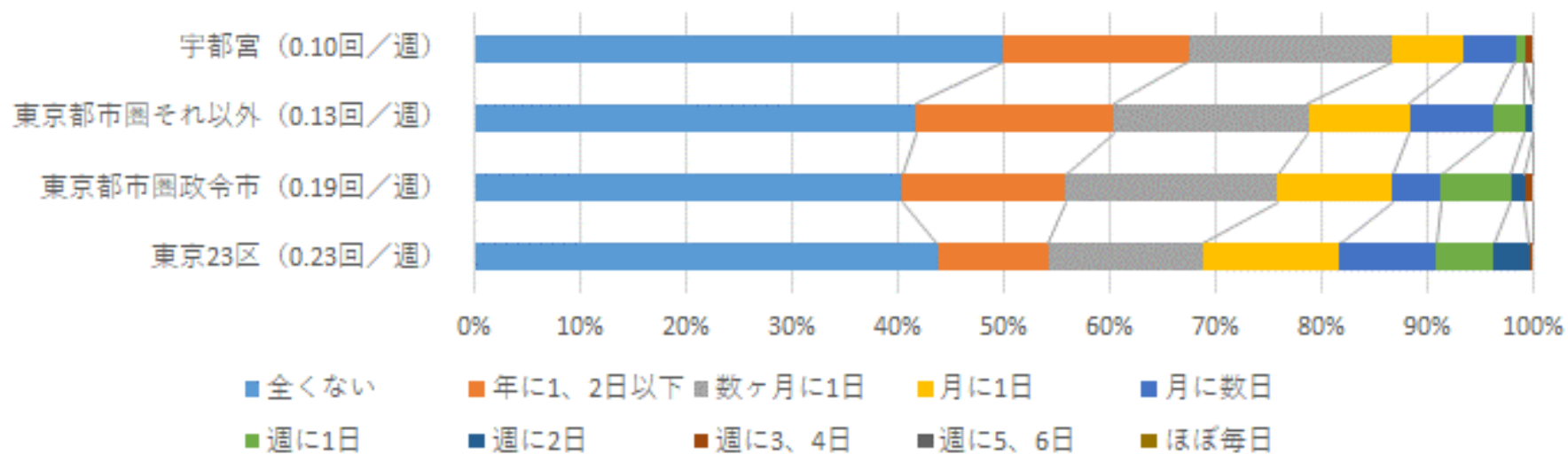


※括弧内の数値は平均値

仕事の関係や所属するグループ等の付き合いで飲みに行く頻度

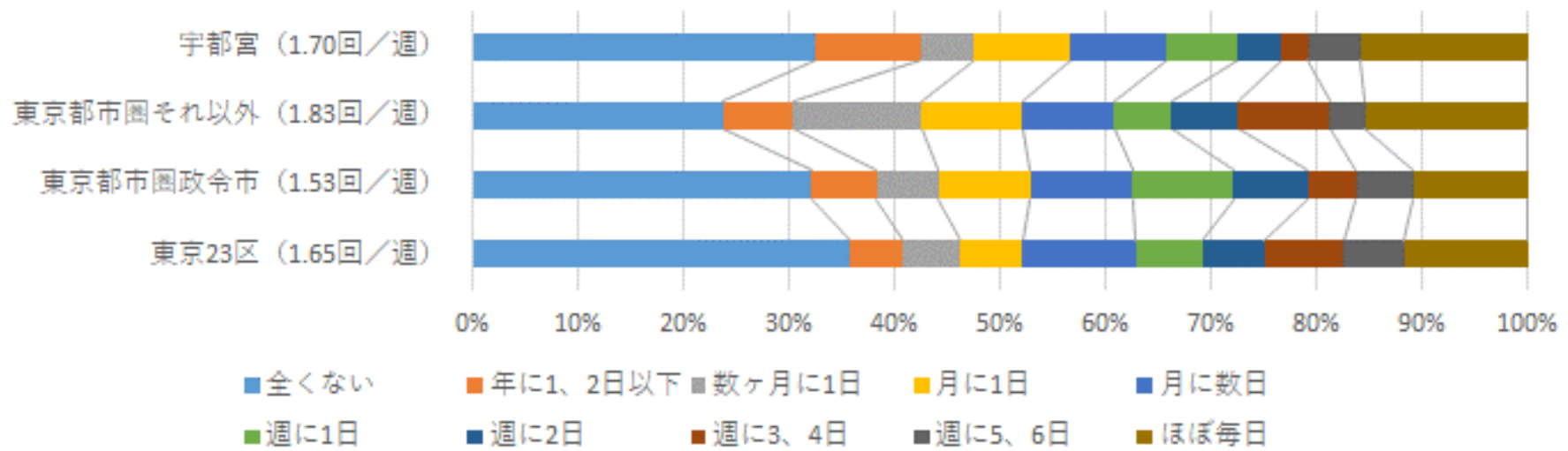


プライベートで飲みに行く頻度

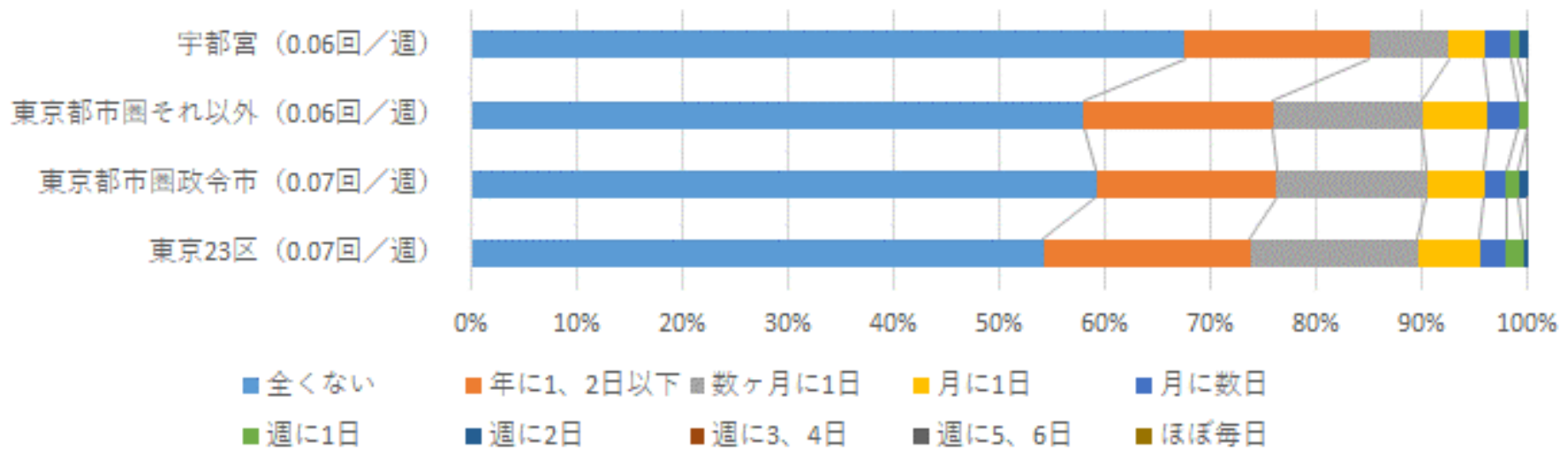


※括弧内の数値は平均値

自宅でお酒を飲む頻度

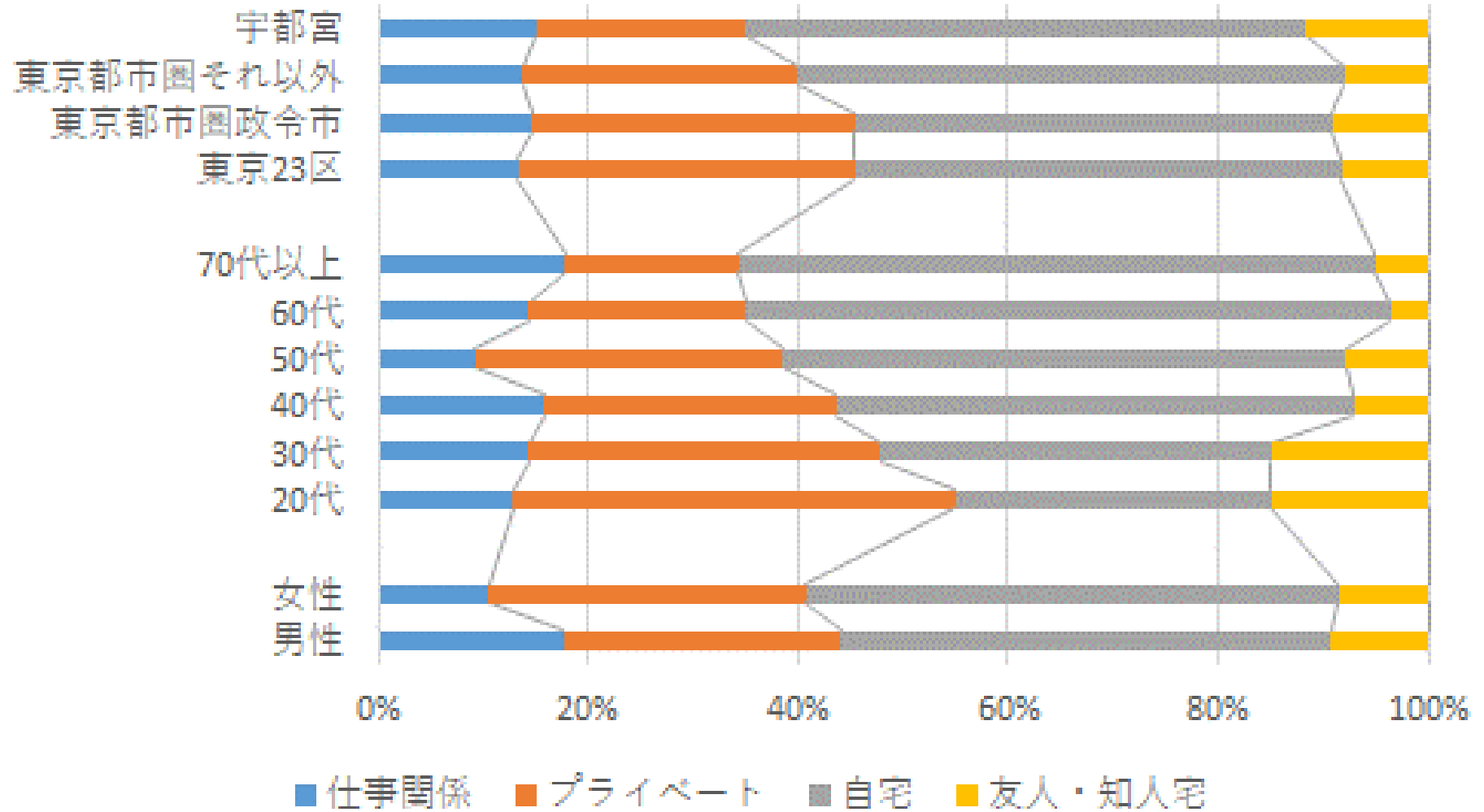


友人や知人宅でお酒を飲む頻度

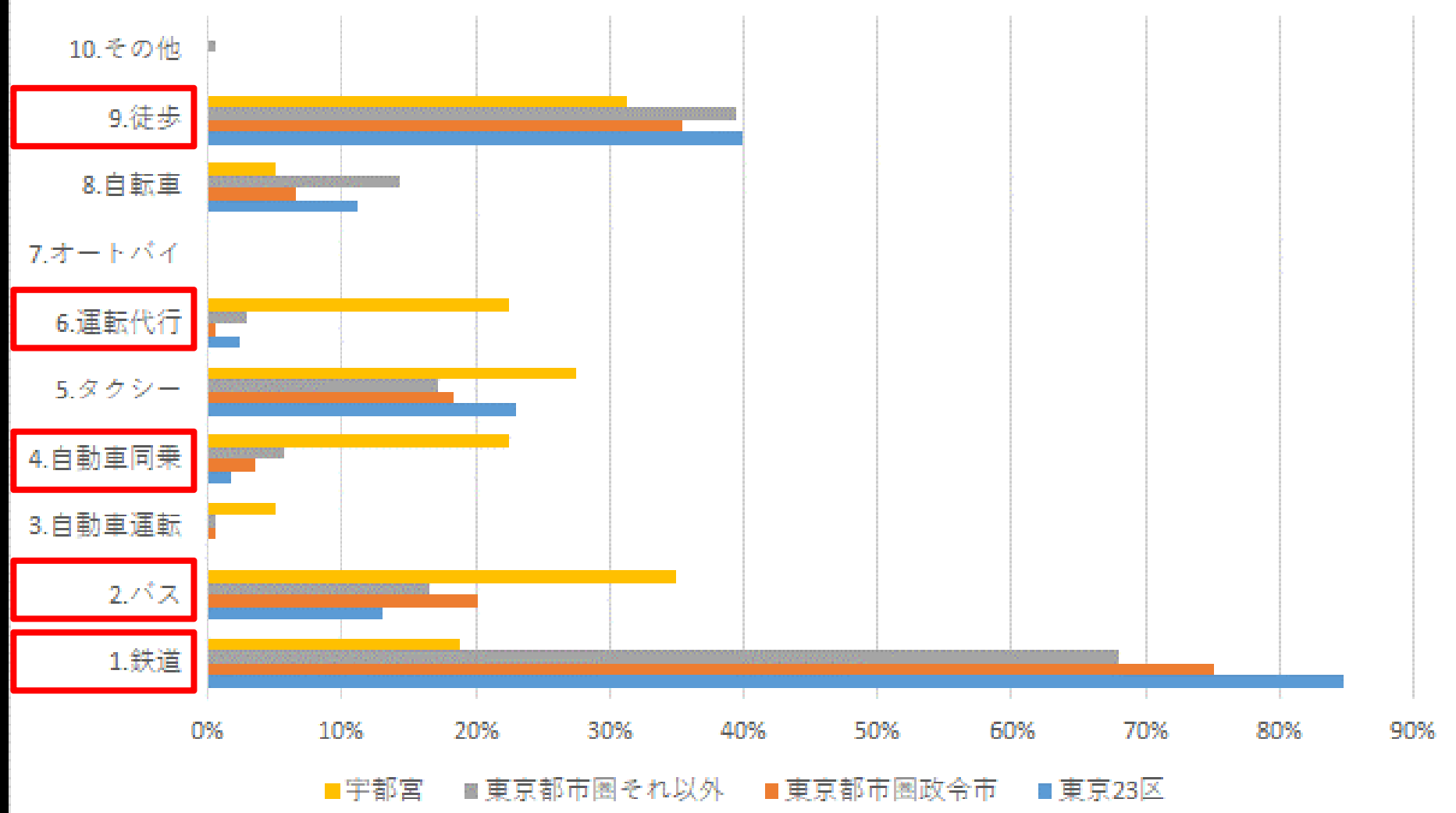


※括弧内の数値は平均値

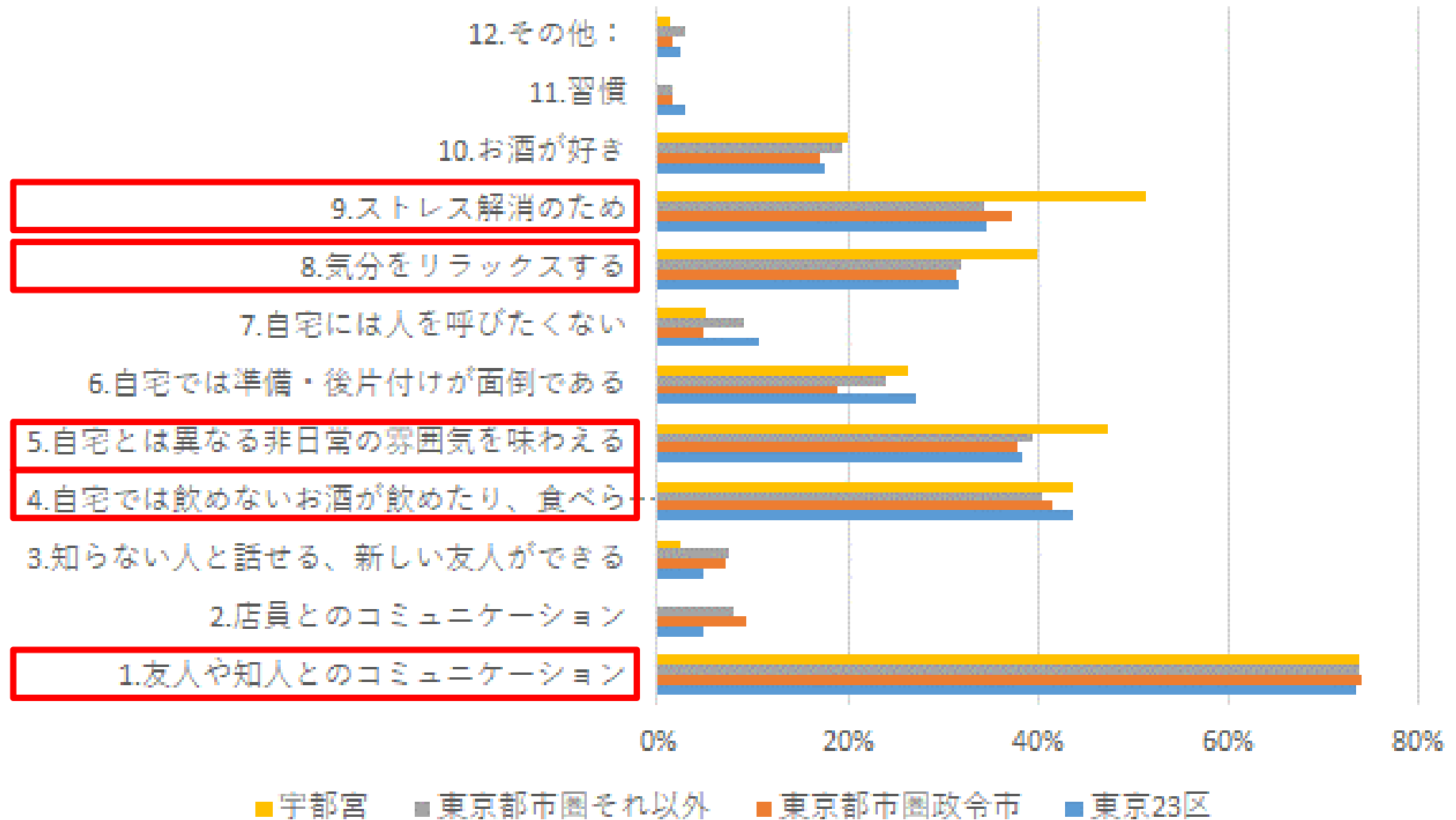
最も好きな飲酒活動の種類



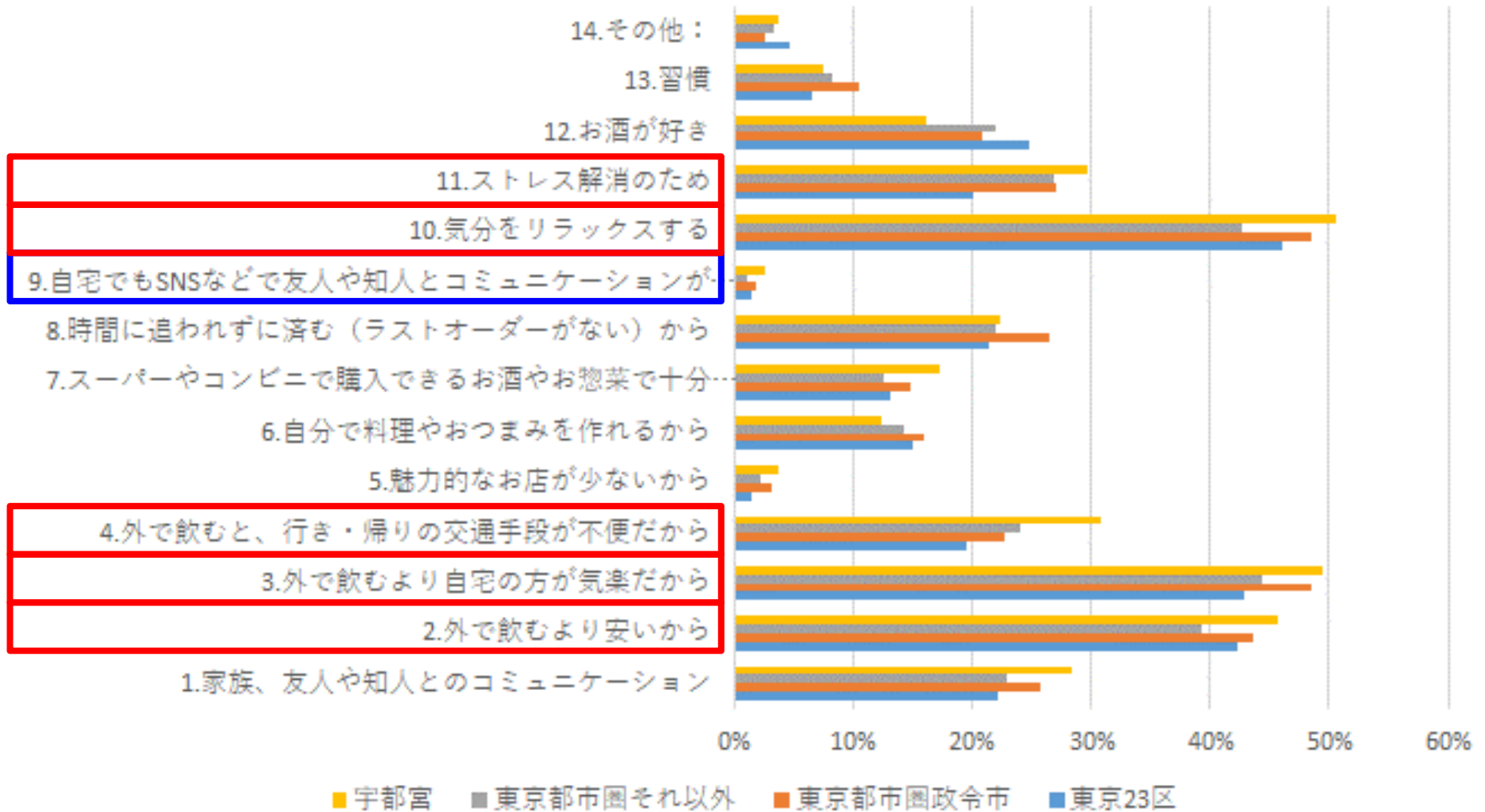
飲酒後の帰宅交通手段



居酒屋、バーなどに飲みに行く理由 (最大5つ)

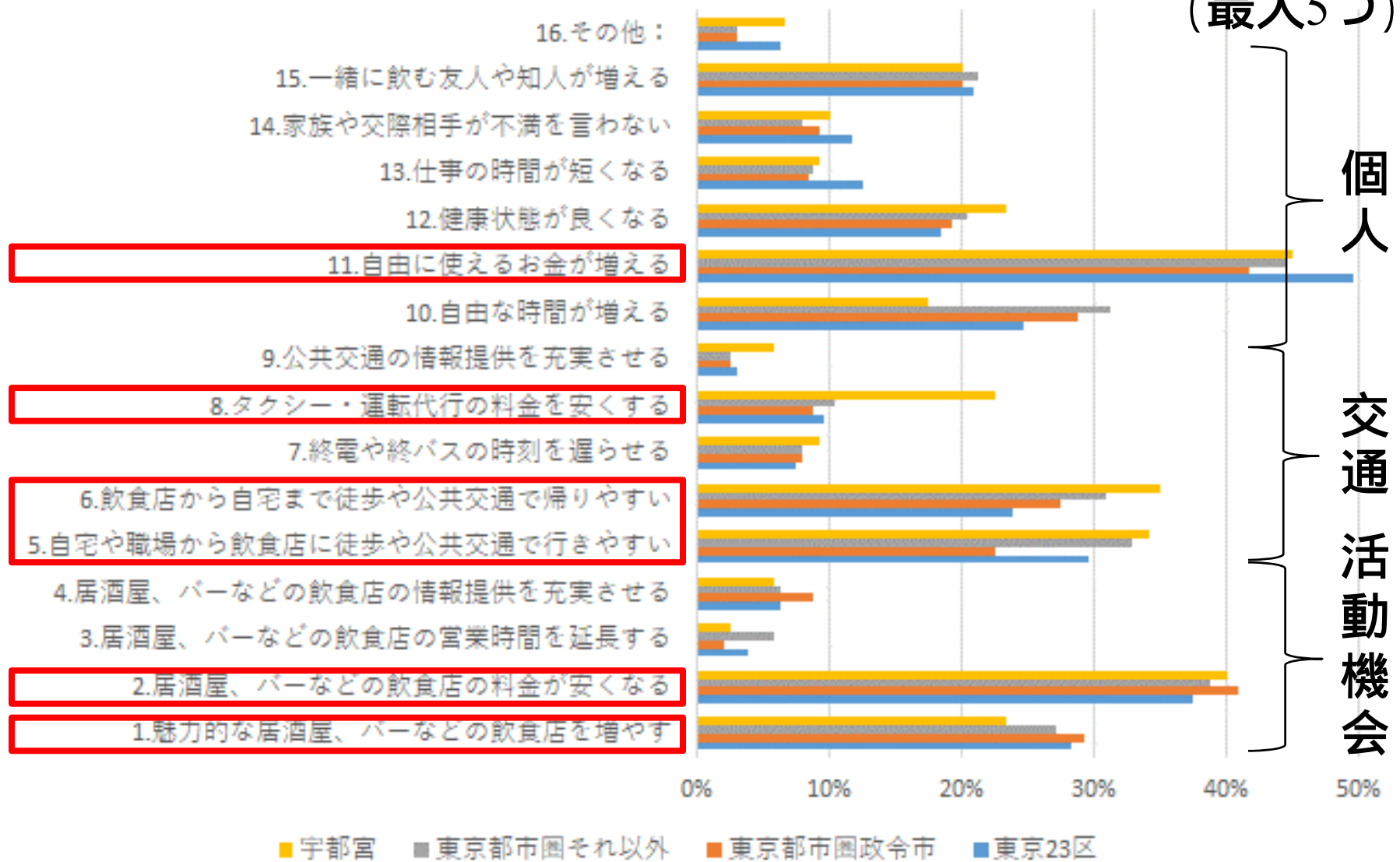


自宅でお酒を飲む理由 (最大5つ)

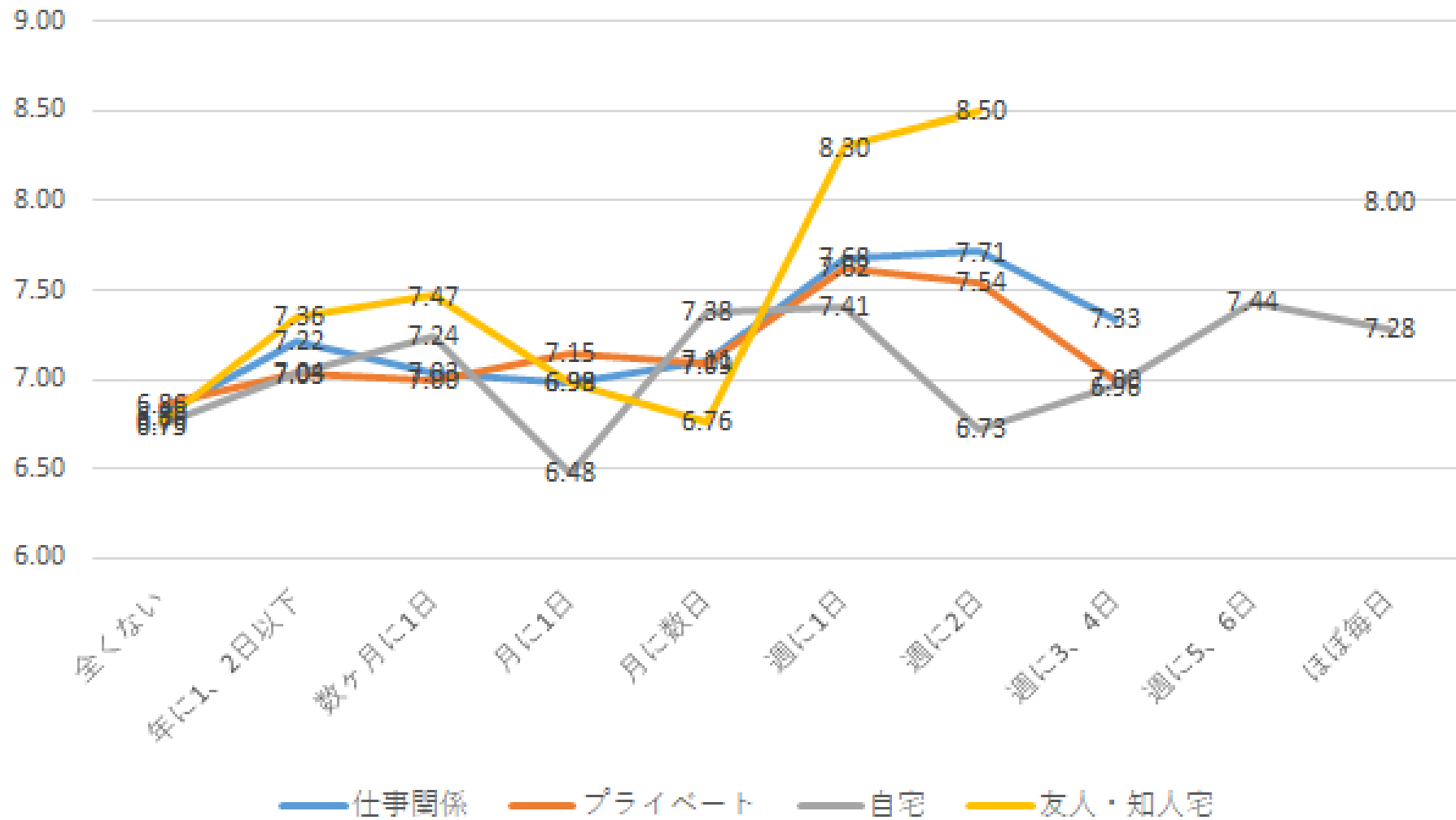


飲食店で飲むことの満足度を向上させるためには何が必要か？

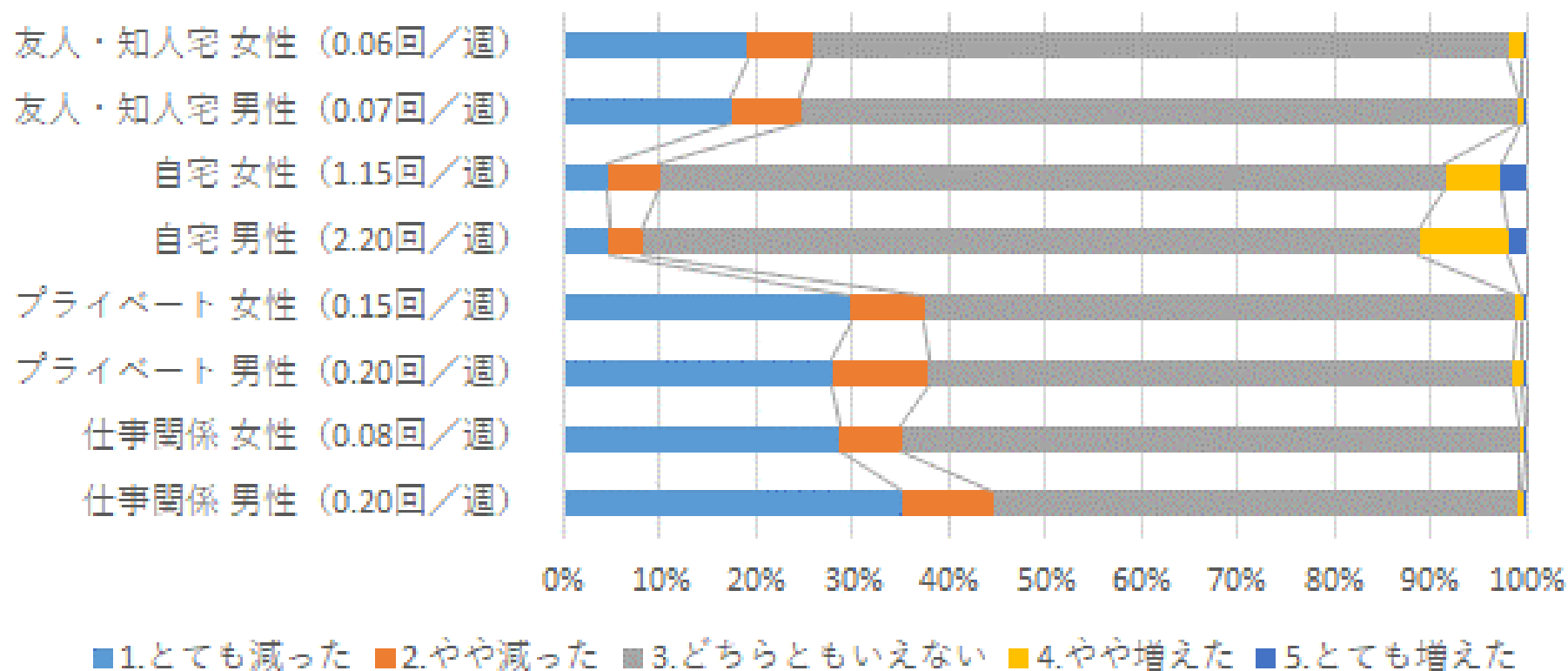
(最大5つ)



飲酒頻度と主観的幸福感

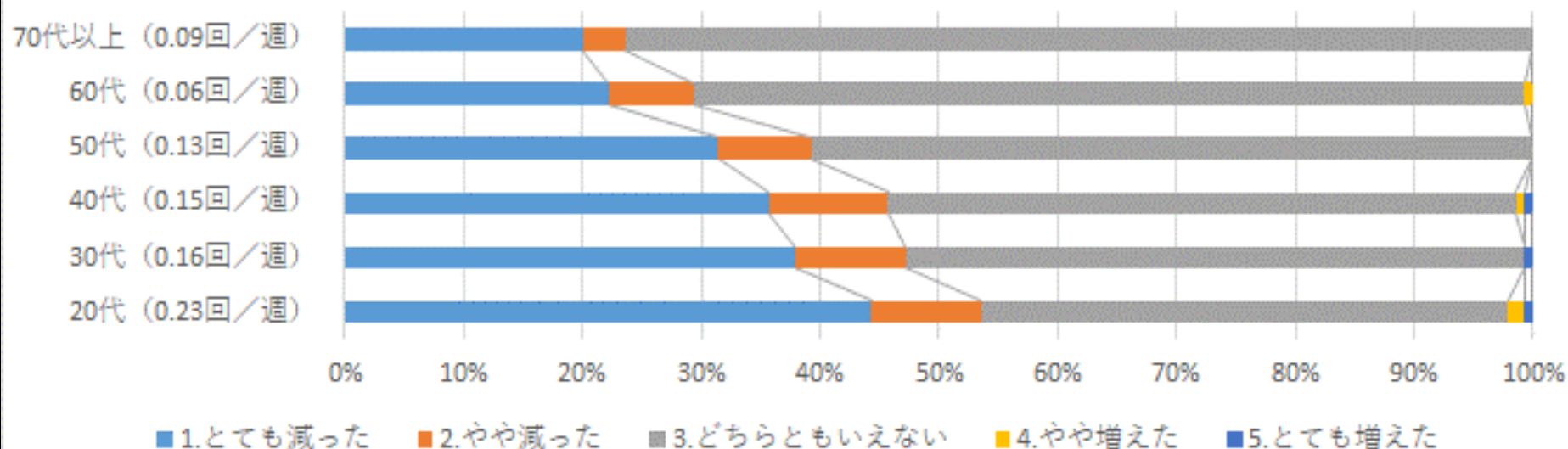


男女別新型コロナ蔓延後（2020年4月）の飲酒頻度

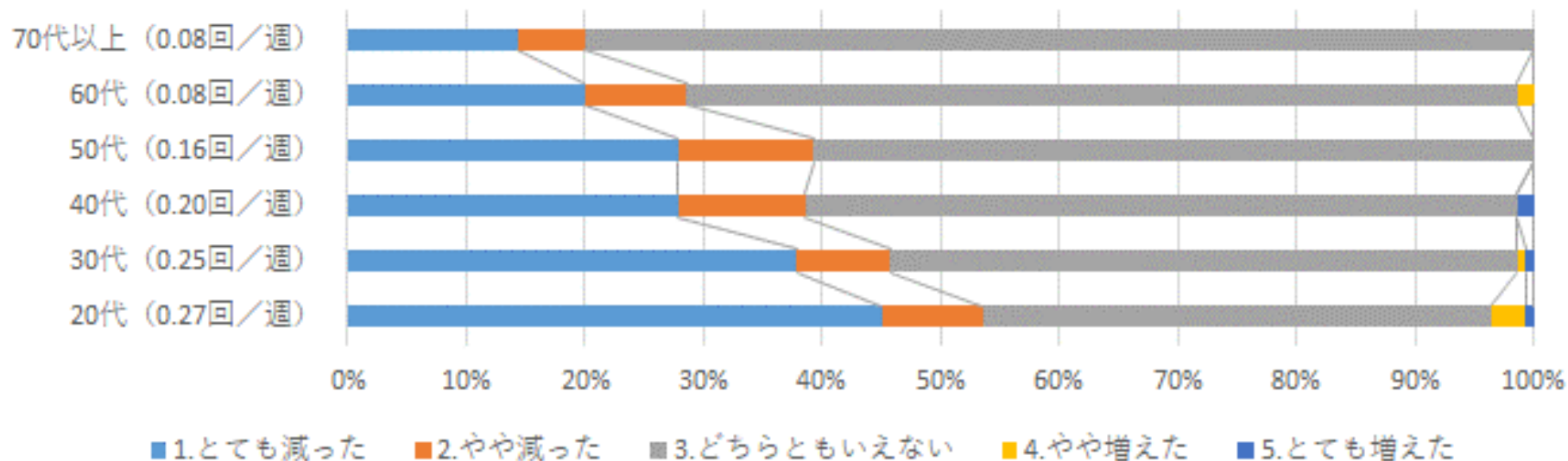


※括弧内の数値は新型コロナ蔓延前の平均値

新型コロナ蔓延後（2020年4月）の飲酒頻度（仕事関係）

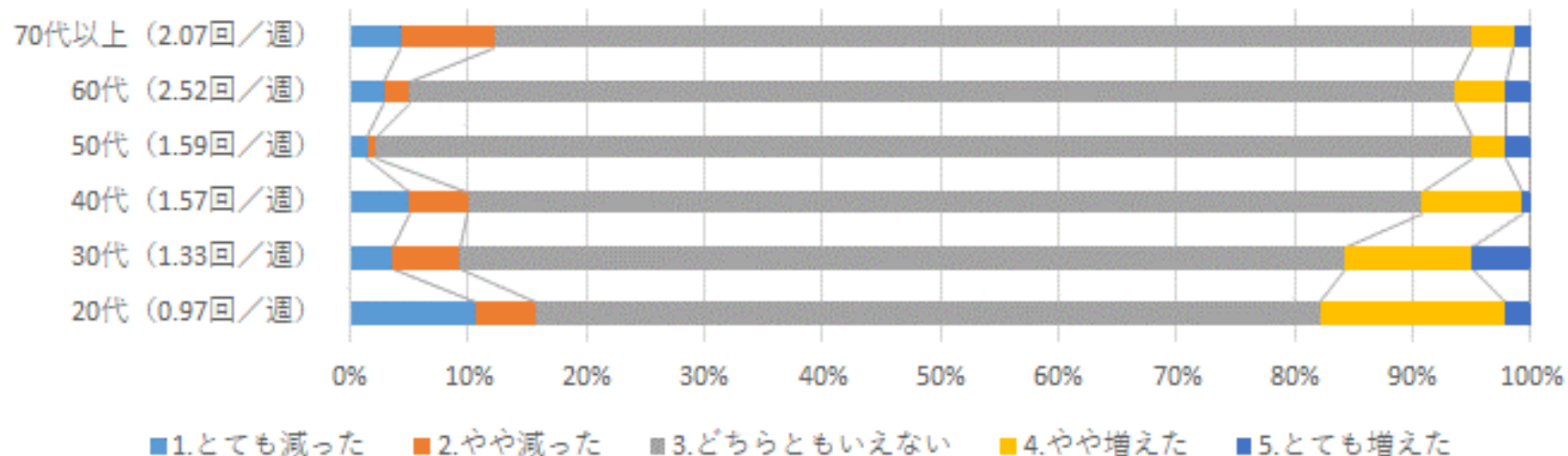


新型コロナ蔓延後（2020年4月）の飲酒頻度（プライベート）

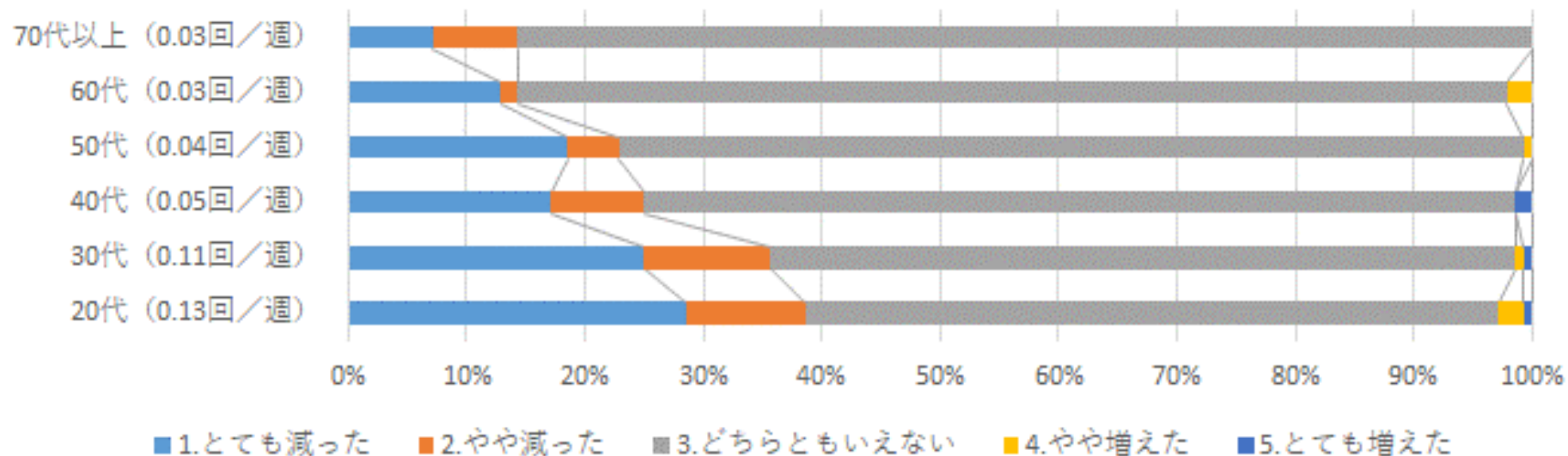


※括弧内の数値は新型コロナ蔓延前の平均値

新型コロナ蔓延後（2020年4月）の飲酒頻度（自宅）

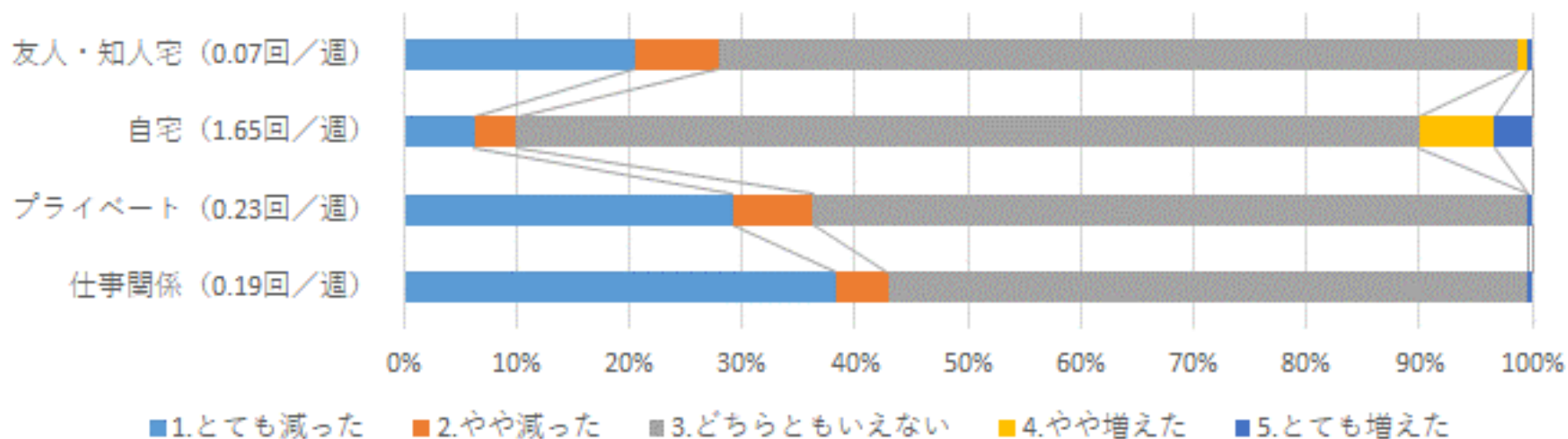


新型コロナ蔓延後（2020年4月）の飲酒頻度（友人・知人宅）

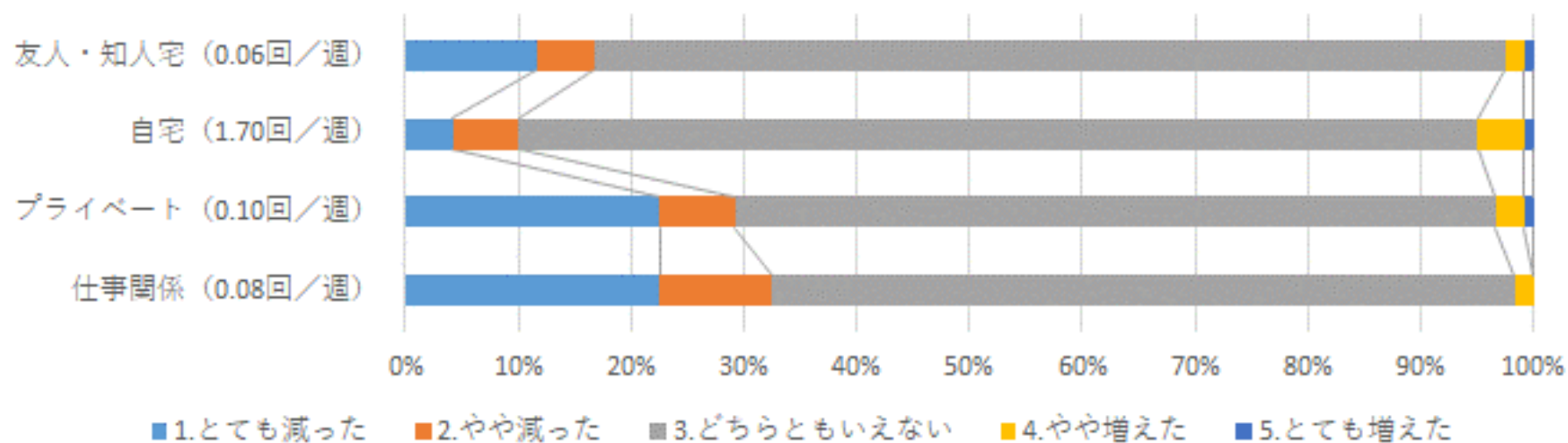


※括弧内の数値は新型コロナ蔓延前の平均値

新型コロナ蔓延後（2020年4月上旬）の飲酒頻度（東京23区）

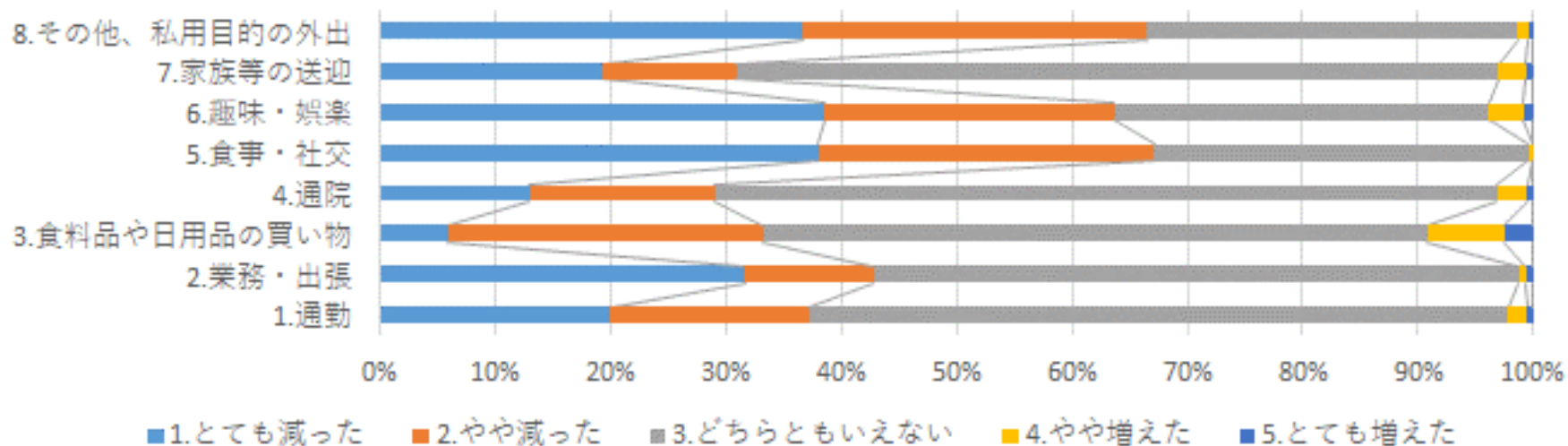


新型コロナ蔓延後（2020年4月上旬）の飲酒頻度（宇都宮）

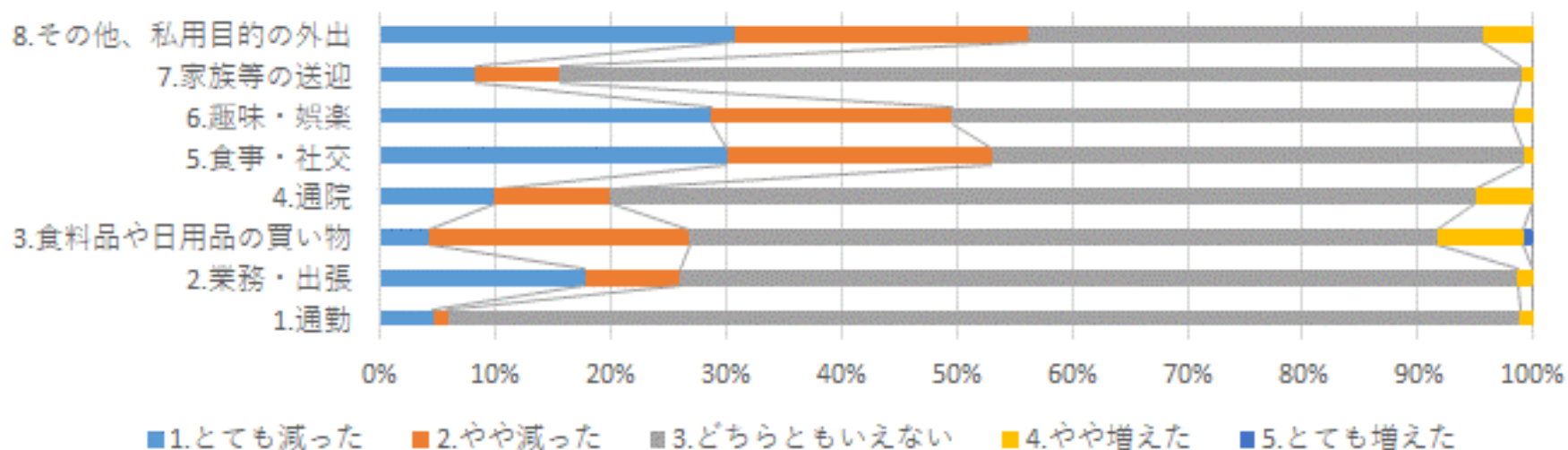


※括弧内の数値は新型コロナ蔓延前の平均値

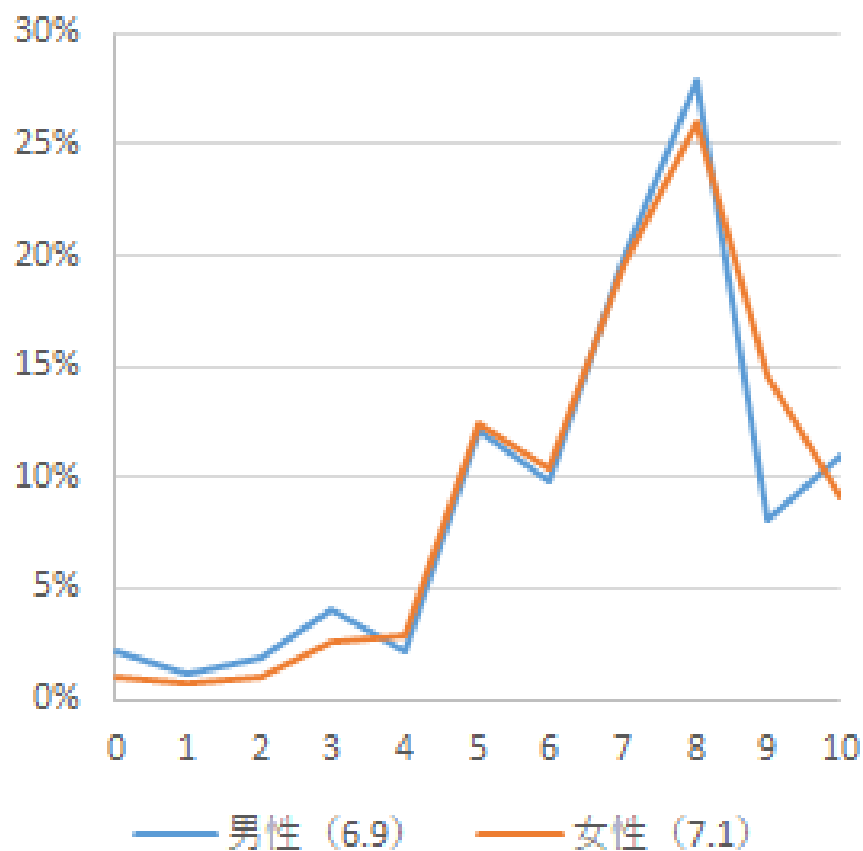
新型コロナ蔓延後（2020年4月上旬）の外出頻度（東京23区）



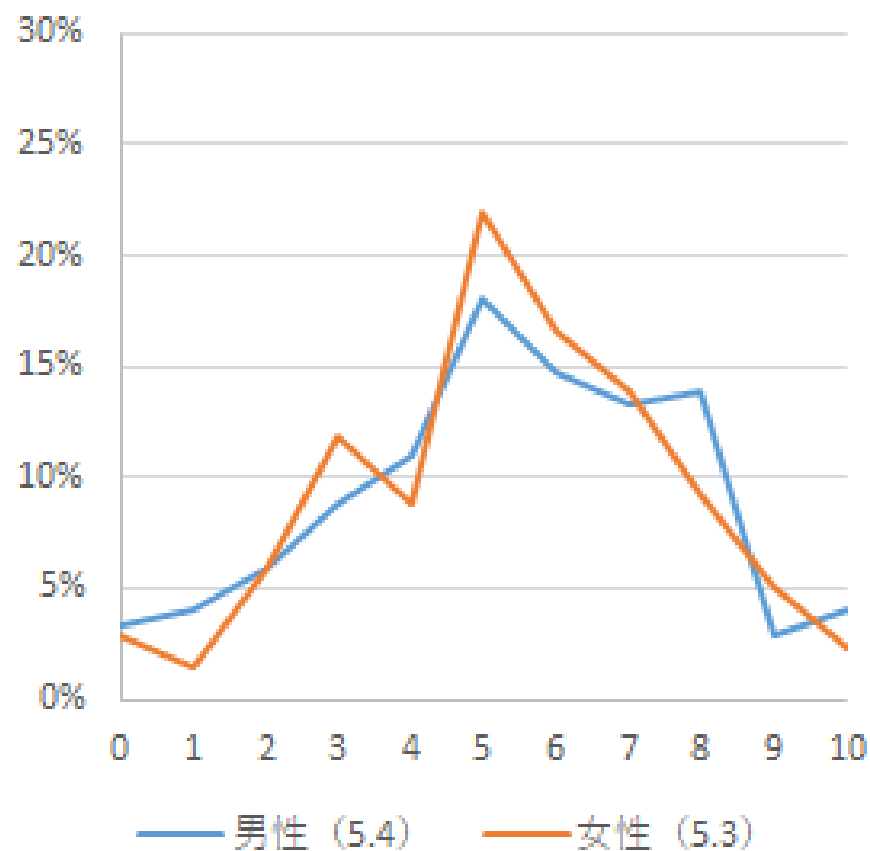
新型コロナ蔓延後（2020年4月上旬）の外出頻度（宇都宮）



主観的幸福感
(2019年4月～12月)

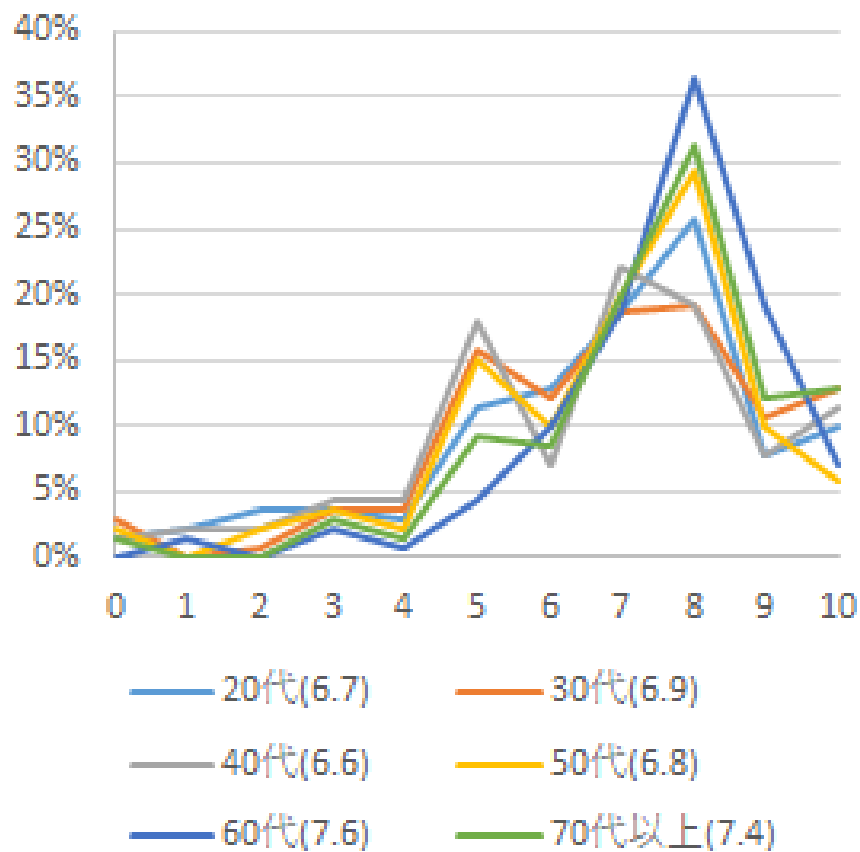


主観的幸福感
(2020年4月)

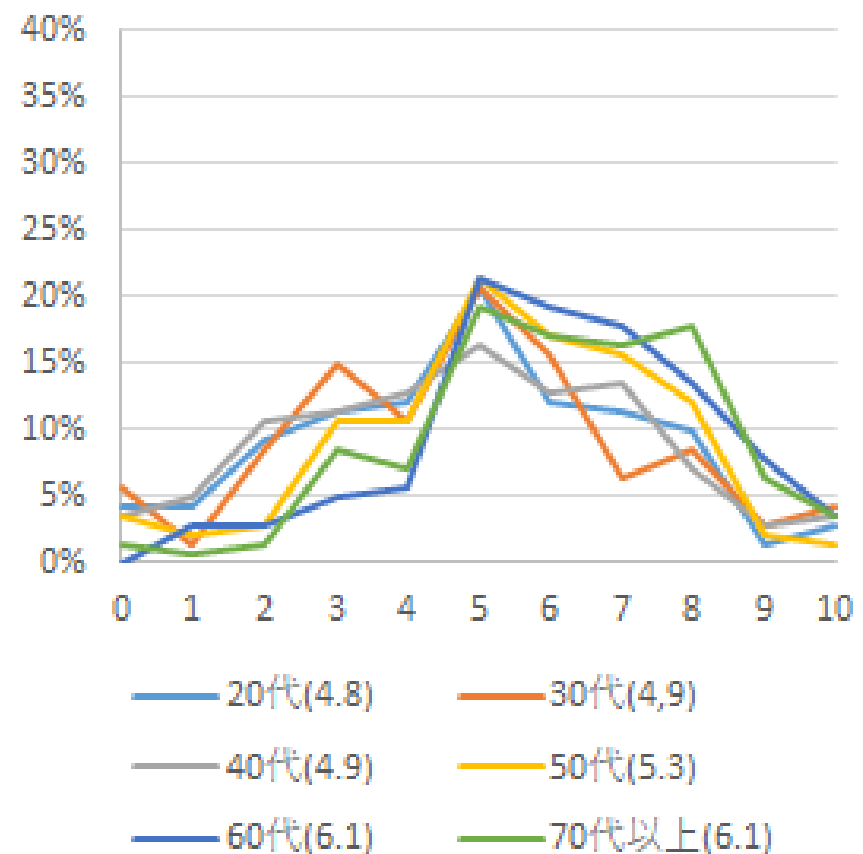


※括弧内の数値は平均値

主観的幸福感
(2019年4月～12月)

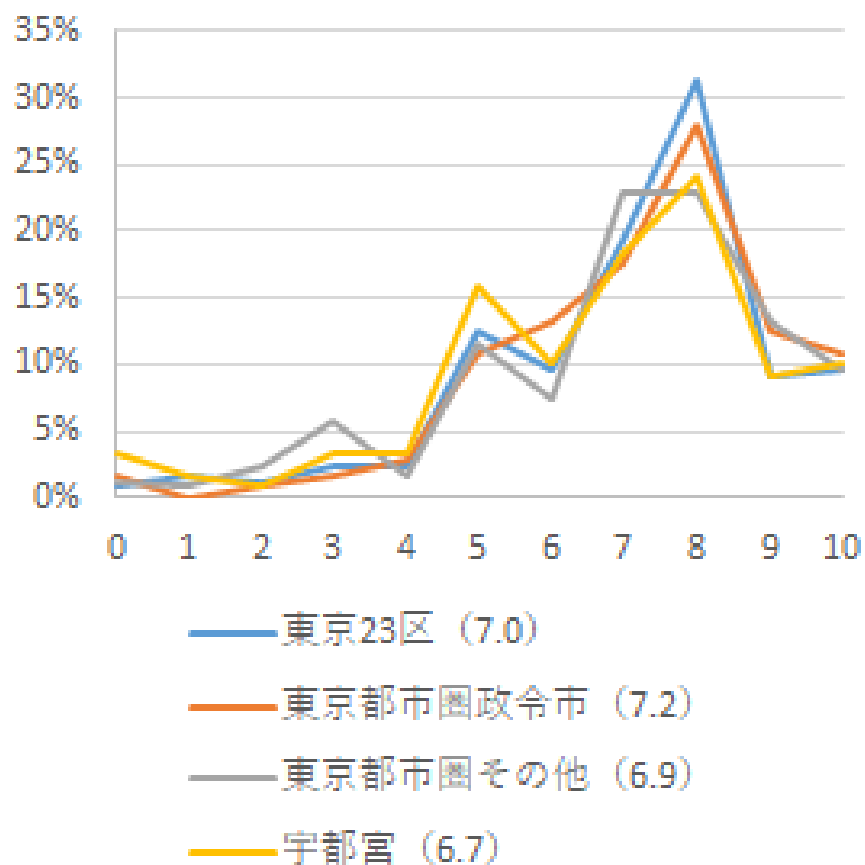


主観的幸福感
(2020年4月)

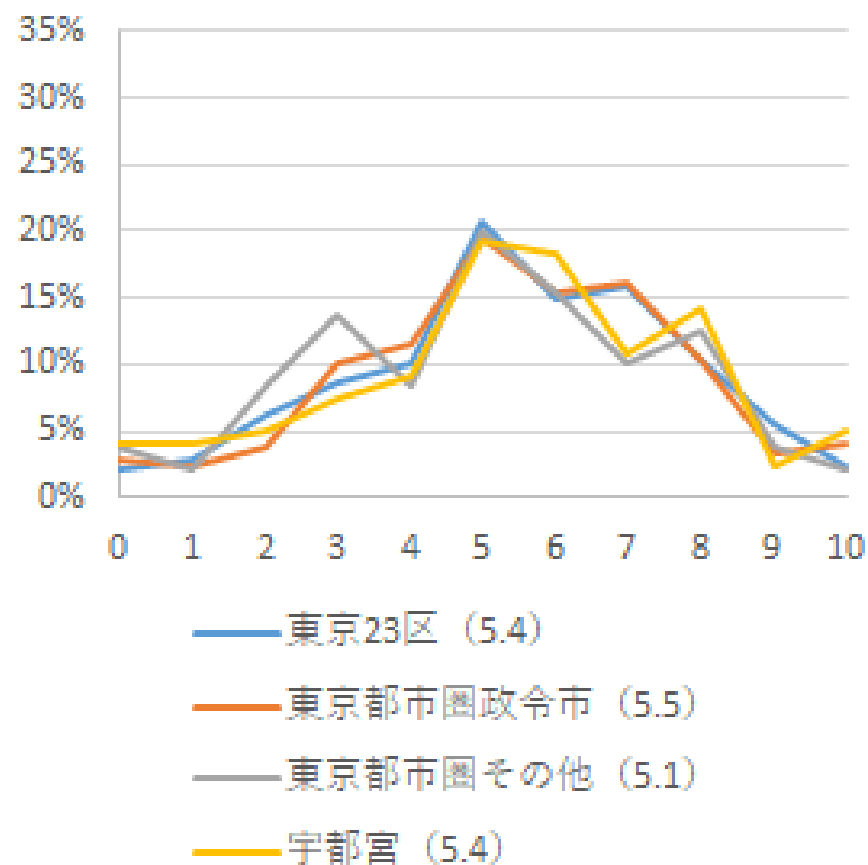


※括弧内の数値は平均値

主観的幸福感
(2019年4月～12月)



主観的幸福感
(2020年4月)



※括弧内の数値は平均値

分析結果のまとめ

- 女性より男性は飲酒頻度が高く、外飲みが好き
- 若者は外飲みを好み頻度も高く、高齢者は家飲みを好み頻度も高い
- 東京都心の方が、外飲みを好み頻度も高く、家飲みの頻度が若干低い
- 東京都心から離れるほど、外飲み後の交通手段が不便なため家で飲み、外飲みへ徒歩・公共交通で行き帰りしやすさを求めている
- 新型コロナで外飲み頻度、外出頻度減少：東京都市圏で減少が大きい
- 新型コロナで幸福度低下：女性、若者、東京都市圏で低下が大きい

今後の分析

- 飲酒活動の実態と意識の詳細な分析
- 幸福感に影響を与える要因の分析
 - 健康: 主観的健康観など
 - 経済: 年収など
 - つながり: 家族、職場、友人、近隣との関係性など
 - 活動: 飲酒、仕事、家庭、趣味・娯楽の満足度など
 - 個人属性: 年齢、同居者など

※第62回土木計画学研究発表会(秋大会)で発表予定です。